

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29 年 2 月 3 日			
所属学部・研究科	文学 学部 / 研究科 二年次 (留学開始時点)			
留学先大学	トゥールーズ大学 (国名: フランス)			
所属学部・学科等名	フランス語学			
在籍身分	留学			
留学期間	平成 28 年 8 月 26 日 ~ 平成 29 年 1 月 16 日			
1. 渡航について				
ビザについて	<p>ビザの種類: 留学</p> <p>ビザ申請先: 東京</p> <p>取得方法, 提出書類: 事前に在日フランス大使館のホームページを参考しながら書類を揃えて東京の在日フランス大使館へ提出に行きました。そして、できたビザの郵送サービスを申し込みました。</p> <p>手続きに要した日数: 土日を含めて一週間</p>			
その他必要な事前手続き	CLE という寮の保証のためにやらなければならない手続きです。 (出国前やれる分をやって、向こうに到着してから残った手続きを完了すれば大丈夫だそうです)			
出国年月日	平成 28 年 8 月 25 日			
経路	広島空港—羽田空港—成田空港—アヂェルク空港 (イスタンブール) —ウニャック空港 (トゥールーズ)			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	学校のオリエンテーションは9月12日から16日まで五日間に行いました。主に授業の内容、学校の各部門、スポーツなど様々なことについて詳しく教えていただきました。			
帰国年月日	平成 29 年 1 月 18 日			
経路	ウニャック空港 (トゥールーズ) —アヂェルク空港 (イスタンブール) —成田空港—羽田空港—広島空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額		円	
	内訳	渡航費	180000	円
		保険料	30000	円
		教科書代(学費)	0	円
		宿舍費	180000	円
		食費	300000	円
		その他 (旅行 費)	200000	円
(雑用 費)	150000	円		
(費)		円		
3. 授業について				

2016年 1 学期	9 月 19 日 ~ 1 月 5 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	フランス語発音、フランス語会話、フランス語聴解、フランス語作文、フランス語読解
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	現地の言葉で書いている自分の専門分野に関する本を読んでもらえばと思います
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 9 m ² 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 (暖気、冷蔵庫、勉強机、椅子、ベット、ダンス)
住居費	1ヶ月当たり €298 (現地通貨) 約 36500 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	できれば、キッチン付きの部屋を選んだ方がいいと思います。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 60000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった あった場合その理由: 留学先の一般的な健康保険しか入れなかったからです
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	利用したことがないので、よくわかりません。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	ヨーロッパの気候が日本より乾燥しているみたいです、顔などの保湿をご注意ください。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
パリの凱旋門の前とポルトガルのリスボンに外国人みたいな泥棒がよくいるようです。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
風邪薬と調味料を持ってきた方がいいと思います。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 29 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
単位互換手続の予定	<input type="checkbox"/> 有 留学先で取得単位数 () 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 無 理由 (具体的に 広島大学での単位は既に全部取っているからです。)	
現在の状況および今後の予定・進路等	時間通りに卒業できます。現在進学しようと思っています。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前に卒業論文をほぼ完成するまで一懸命作成しました。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
フランス語の勉強	http://www.lepointdufle.net/ressou	
TV 5	http://apprendre.tv5monde.com/fr/	色んな情報が載せています。
フランス語	http://lexiquefle.free.fr/vetement.s	
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
到着したばかりの時は、友達がなくて言葉も通じできないかもしれないが、心配しないで、学校が始まるなら友達が増えて、言葉の勉強もできるようになると思います。また、できるだけ留学先の現地の言葉をしゃべってください。		
8. 留学先の大学情報 (有名な分野, 大学の規模)		
トゥールーズ大学 (Univesité Toulouse Jean Jaurès) の芸術と文化人類学が非常にいいみたいです。		

(授業履修について)

所属学部・研究科	文学 学部/研究科	二年次 (留学開始時点)
留学先大学	トゥールーズ大学 (国名: フランス)	
所属学部・学科等名	フランス語学	
在籍身分	留学	
留学期間	平成 28 年 8 月 26 日 ~ 平成 29 年 1 月 16 日	
1. 履修登録について		
いつ頃履修登録をしましたか。 (例: 出願時 (月頃)、出発直前 (月頃)、派遣先大学到着後 (月頃))		
派遣先大学到着後 2 週間頃。		
希望の科目をどの程度履修できましたか。 (例: すべて履修できた・いくつか変更させられた・ほとんど履修できなかった)		
すべて履修できた。		
履修できなかった理由、変更が必要になった理由を述べてください。 (例: 3 年生以上しか履修できない科目だった)		
交換留学生に履修制限がある科目はありましたか。どのような制限ですか。履修に際して必要書類はありましたか。		
他の専攻の授業を登録したいなら、国際センターの事務室に行かなければならないようである。		
2. 履修科目について		
履修科目数	合計 5 科目	
履修科目 1		
科目名	Expression orqle	
時間数	1 週間に 360 分の授業が合計 36 回	
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。		
会話の授業なので、主にグループ分けて練習している。 試験の時、いくつかの話題の一つに指定されて話すという形である。		

履修科目 2	
科目名	Expression écrite
時間数	1週間に 120 分の授業が合計 12 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
授業に主に文法を中心に行っている。 試験は作文を作成する。	
履修科目 3	
科目名	Compréhension écrite
時間数	1週間に 240 分の授業が合計 24 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
授業は聴解を主に行っている。 試験の時、短い文章を3回聞いて、質問を答えるという形である。	
履修科目 4	
科目名	Compréhension orale
時間数	1週間に 240 分の授業が合計 24 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
授業は聴解と会話を両方とも進んでいる。	
履修科目 5	
科目名	Qspects de la vie quotidienne
時間数	1週間に 120 分の授業が合計 12 回
科目内容、予習・復習・試験・レポート等具体的な内容について記述してください。	
授業には、フランスの地理文化及びフランス人の生活を様々を紹介する。 試験というより、フランス人を対象にグループでアンケート調査を実施して、結果をクラスで報告する。	

学習の概要

フランスのトゥールーズ大学に主に語学の勉強を中心にしました。履修登録する時、国際センターなどのところから許可または証明書みたいなものをもらえれば、他の授業も登録できるようです。私がフランス語の授業しか登録しなかったけれども、聴講生として韓国語の入門クラスにも行きました。元々自分が興味を持っている文化人類学の授業にも参加してみたかったが、授業は全部フランス語ですので、難しくて一回しか行かなかったです。また、フランス人の日本語授業がどのように進んでいるのかに関心を持って、日本語の授業にも二・三回ほど行ったことがあります。そして、様々なスポーツも限定なくて登録できるので、私が三つを登録しました。

まず、フランス語の授業について述べようと思います。週に9コマの授業があります。一コマの授業は120分になっています。授業には、会話、聴解、作文、読解、文化という五つの科目があります。すべての授業は決まった教科書がありませんでした。毎回授業の前に、先生が授業用のプリントを配ります。会話の授業は、最初単語と例を一緒に勉強して、そしてグループに分けて会話の練習をやりませう。最後グループでクラスの前に発表します。それと同時に、他のグループがそのグループが発表した内容をみんなの前に書きます。そのように各グループで会話と聴解両方が練習できるようになりました。もう一つの会話授業は主に発音の練習をやっていました。パソコン室で聞きながら発音の練習をしていました。聴解の授業には、先生が様々な生活の場面に行っている話題を中心に授業を進みました。それらの会話を聞きながら、プリントにある質問を答えませう。そして、会話の原文を配って、皆グループでそれらの会話を練習します。最後、三つのグループが会話を読みながら、先生が発音を直します。作文の授業には、主に文法の勉強と練習をしています。まず文法とそれらの文法に対しての例文を勉強します。そして、書く練習と会話の練習両方もやっています。読解の授業には、文章を読むとか、文章を聞くとか、いろんな形でやりました。文化という授業には、主にフランスの地理及び様々な面において色んなことを紹介してくれました。長い文章を読まなければならないので、知らない単語が非常に多くて、最初はすごく難しかったです。しかし、プリントの資料だけではなくて、面白いビデオとかも見せませう。やっているうちに、いろんなフランスの文化又はフランス人の生活を理解できるようになりませう、一番面白い授業だったと思います。

そして、授業の内容について、ほとんど授業が終わってから、先生が学校のホームページに載せています。自分の学生番号と暗証番号で登録すれば、便利に見られます。また、宿題もインターネットでやって提出します。しかし、提出の締め切りが過ぎたら、提出できないので、注意しなければなりません。また、学校のホームページには、様々な語学の勉強がぎきます。例えば、フランス語、中国語、スペイン語など各レベルの勉強資料が充実しています。授業の中にも、先生方がいろんなフランス語の勉強に役立つページを紹介しています。発音と聴解を練習するとか、ニュースを読むとか、ビデオを見るとか、様々な方法で語学の勉強ができます。学校の寮には全部インターネットを付いているので、家でも便利に勉強できます。

次は、図書館について話します。トゥールーズ大学の学生証を持っている場合は、トゥールーズですべての図書館から本を借りることができるようです。トゥールーズ大学には、いくつかの図書館があります。その中に語学の図書館も設置されています。すべての図書館は平日の8時半から19時まで開いているようです。日本の大学より、開館の時間が短いです。本は一カ月借りられます。

最後に、言いたいのは、やはり語学の勉強にとって交流が一番大事だと思います。クラスにはfacebookのグループがありますので、授業に関する情報または不明なところについて、クラスメートたちと便利に交流できます。また、授業後みんなよく話っています。特に英語があまり話せないクラスメートであれば、通じできるフランス語を話さなければなりません。その方が、フランス語の練習に役に立つと思います。両方もそんなにうまく話せないかもしれませんが、話せば話せるほど上達できるのではないでしょか。また、勉強というと、学校の授業だけではなくて、生活の中に買い物とか、食事とか、イベントとか、様々な場合でフランス語の勉強ができます。その故で、できるだけ勉強していたフランス語を生活の中に使ってみて、また新しい勉強を積み重ねることができると思います。

千里の道も一歩から、ぜひ語学の勉強を長く続けてください。

生活の概要

生活については人によって違いますが、ここで私が留学先の生活を簡単に述べます。

まず、留学先に到着後、大学の日本語学科の学生一人が空港まで迎えに来てくれました。そして直接寮まで送って、寮の手続きもご案内してくれました。すぐにうまく寮に住むことができました。寮のチェックをしてから、その人が車で一緒に現地の非常に大きい、しかも安いスーパーに連れて行きました。布団、炊飯器、食料品などいろいろな生活必需品を買いました。その故、到着の当日に既に生活できるようになりました。翌日、交通カートと携帯のSIMカートを買いました。それで、一人で海外の新しい生活を始めました。

私の場合は、色々な事情がありまして、二週間ほど早めに留学先に到着しました。その故、最初の二週間はたっぷりな時間がありまして、朝起きて近くにジョギングしました。それのおかげで、近くの住まい環境をすぐ分かるようになりました。その近くにきれいで静かな川がありまして、両側に青桐もあるし、多くの船も泊まっているし、ジョギングにとって素敵なおところだと思います。来たばかりなので、友達もできていなくて、いろんな不安もありましたが、ここに来てなんか落ち着けるような気がしました。

やっと、二週間後学校が始まりました。最初の一週間はオリエンテーションでした。授業とか、学校の施設とか、生活情報とか、色々ご案内してくれました。その時から、新しい友達ができ、一緒にご飯を食べたり、授業を行ったり、買い物をしたりして、本番な留学生生活を始めました。特に、最初の一カ月には、いろんな歓迎会みたいなことをやってくれましたので、いろんな国から来た学生と交流ができて、様々な文化を体験しました。それで、生活がだんだん充実に送りました。私はフランスに行く前にフランス語を勉強したことがありましたが、到着したばかりの時、ほとんどフランス語を喋れなかったです。下手な英語で人々と交流しました。しかし、フランス語の勉強が進んでいるうちに、フランス語が話せるようになりました。それに、フランス人の友達もできて、クラスメートには英語が喋れない人もいるので、フランス語でしゃべるチャンスも多くなりました。しかしながら、フランス以外他のヨーロッパの国に行った時には、ほとんど英語しか交流できませんでした。

次は、普段の生活について述べます。トゥールーズには、大きなスーパーはいくつがあり、その中にも日本の業務スーパーのように安いところもありますので、非常に生活しやすいところだと思います。現地の物価というと、果物と野菜は日本より安いですが、レストランは日本よりやや高いと思います。しかし大学の食堂は非常に安いです。前菜、主菜、デザート三点合わせて3.25€で、パンが自由に取れます。という、留学先の食堂は日本より安くて、お腹もいっぱい食べられます。学校での昼食以外、私がよく自炊していました。偶には友達と一緒に外食もしていました。また二点を言わなければなりません。一つは、フランスでは日本のようにどこでも簡単にコンビニを見つけるところではない、しかもスーパーもほとんど夜の8時半頃閉まり、日曜日も全部休みの日です。もう一つは、フランス及びほかのヨーロッパ国では、トイレが非常に少ないです。無料で使えるのがめったにないです。その二点からいえば、やはり日本の方は生活が便利だと思います。

最後、交通情報について話したいと思います。私の留学先（トゥールーズ）には、地下鉄がA線とB線があり、空港まで行ける電車もあり、また色々なバスがあります。もちろんタクシーもありますが、私は一回使ったこともありません。住んでいる寮と学校両方とも地下鉄駅のすぐ前だから、いつも地下鉄を使っていました。毎日地下鉄を使うと、交通費はどんなに高いかなと思う人がいるかもしれません。留学へ行く前に、私もそういう心配もありました。実は、フランス及びほかの多くのヨーロッパ国には、26歳未満の学生に様々な社会福祉を与えているようです。例えば、トゥールーズでは、26歳未満の学生なら、月に10€（社会人なら、月に46.8€）ですべての公共交通が乗り放題になっています。交通だけではなく、美術館とか博物館とかも、無料でいけるところが多いです。もしほかの都市または国へ旅行する予定があるなら、早ければ早いほどインターネットで航空券又は汽車の乗車券を予約した方が安いです。格安航空券なら、「google フライト」がおすすめです。普通の交通手段なら、「GoEuro」というアプリをお勧めします。

半年の交換留学生生活は本当にあつという間に終わりました。言葉の勉強、現地及びヨーロッパの文化の体験で留学生生活を充実しました。また色々な国の友達ができ、交流を深くするうちに、異文化接触の魅力をすごく感じました。